

## 令和4年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況（その1）

桂川町教育委員会 学校教育課

4月に、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果の概略を報告します。

本年度は、例年の国語・算数（数学）に加え、理科の3教科で実施されました。本町の平均正答率は、本年度も全教科、全国及び福岡県の平均正答率に届きませんでした。しかし、昨年度と比べると、小学校6年生は差が大きく縮まり、中学校3年生も差が少し縮まりました。

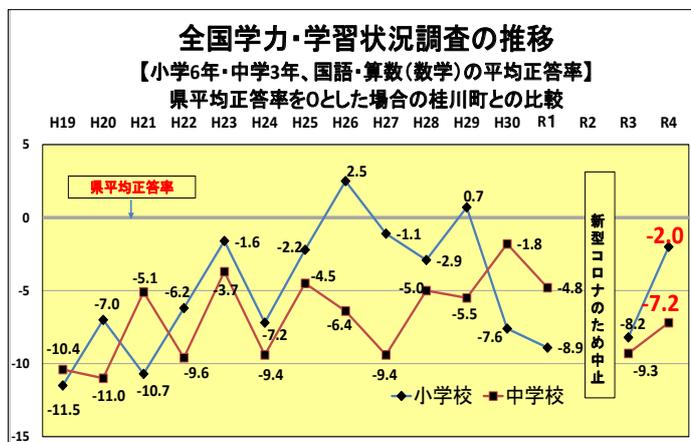
また、調査が始まった平成19年度からの推移のグラフ【国語・算数（数学）2教科の平均正答率の県平均正答率との差】をみますと、ここ3〜4年は低下傾向となっていました。本年度は、回復の兆しが見えてきました。

各学校では、学力を伸ばすために、「桂川町授業スタンダード」に基づいた基盤づくりに取り組み、また、タブレットなどのICT機器を授業や家庭学習等に効果的に活用したことが、結果に結びついてきました。

学校教育課としても、この結果を真摯に受けとめ、各学校の取組の方向性はまちがっていないと確信しています。

今後は、桂川町として「学力向上」を進めていくために、これまで以上に、「学力の基盤づくり（朝の学習活動等の充実）」「授業づくり（書く活動・ICT機器の活用の充実）」「家庭との連携（家庭学習の充実）」に関して、学校とともに取り組んでまいります。

各家庭におかれましても、お子様の家庭での学習に関心を持っていただき、学習に取り組んでいるお子様への励ましのお声かけをお願いします。子どもたちのやる気は、ご家族の励ましで、さらに伸びていきますので、よろしくお祈りいたします。



## 子どもたちに育みたい力

～園行事を通して～

桂川幼稚園 園長 城石俊弘

夏休みを経て、ひとまわり大きくなった子どもたちは、元気いっぱい運動会の練習に取り組んでいます。2学期は、運動会や生活発表会等の大きな園行事があり、日常の教育活動に加え、このような園行事は子どもたちを伸ばす大きな機会だと捉えています。国が定める幼稚園教育要領では、左記の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を掲げ、教師が指導を行う際に考慮することとしており、本園でもこの10の姿をふまえて指導計画を作成しています。

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

現在練習に取り組んでいる運動会では、特に次の4つの内容を重視して指導を重ねています。

○【健康な心と体】充実感や満足感を持って心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活をつくり出していく。

○【自立心】自分でしなければならぬことを自覚して、あきらめずにやり遂げることで、満足感や達成感を持って行動する。

○【協同性】友だちと共に工夫したり協力したりする充実感を味わいながらやり遂げる。

○【道徳性・規範意識】やって良いことや悪いこと、きまりを守る必要性がわかる。

3クラスそれぞれの発達段階や個々の園児の実態に応じて育てたい力を明確にし、指導の充実を図っています。

コロナ禍にあって、様々な制限もありますが、一人ひとりの子どもの可能性を引き出し、力を発揮できる園行事をめざして全職員はりきっています。



▲頑張っています、運動会の練習